科目名	62．認知症とともに生きる				
履修年次	2年次	科目区分	専門分野	単位数 (時間)	1単位 （15時間）
ディプロマポリシー(DP)	□ 人を大切にするこころ ☑ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 □ チームの中で連携・協働するための力 □ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	認知症による生活への影響が理解でき、持てる力や自分らしさを支援する方法を理解することができる				
到達目標	認知症による生活への影響をふまえて、持てる力やその人らしさを支援する方法を表現することができる				
評価方法	筆記試験(70点)、課題レポート(30点)による総合評価を行う				
使用 テキスト	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学　医学書院 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学　病態・疾患論　医学書院 生活機能からみた老年看護過程＋病態・生活機能関連図　医学書院				
参考文献	認知症の看護・介護に役立つ よくわかる パーソン・センタード・ケア 池田書店				
教育方法と学生への期待 （求めること）	認知症に対してみなさんはどのような印象を持たれているでしょうか。この科目では、認知症の身体的・心理的な特徴や認知症の人とその家族を支える社会資源についてを講義でなかで学んでいきます。そして、事例をもとに認知症による様々な変化がもたらす生活への影響について、すなわち「認知症の人の見える（感じる）世界」を知り、持てる力とその人らしさを活かした看護やコミュニケーションの方法を考えていきます。また、演習では認知症の人の生活に着目し「環境を整える」ワークを行います。演習のなかでグループワークを行うため他者への発信力と傾聴力が求められます。固定概念にとらわれず柔軟な思考と発想力を養うために、多角的に看護を捉えられるようにしましょう。				

回	学習項目	学習内容	授業方法
1	講義概要 認知症の人への生活支援	講義概要/評価説明/事例紹介	講義
2	認知症が生活に及ぼす影響の実際	認知症とは	講義
3	認知症が生活に及ぼす影響の実際	認知症が生活に及ぼす影響の実際	講義
4	認知症高齢者を支える制度	認知症とともに生きる人とその家族を支える社会資源	講義

5	認知症の人への生活支援	環境を整えるワーク	講義
6	認知症の人への生活支援	認知症高齢者の事例をもとに援助計画の計画立案	講義
7	認知症の人への生活支援	認知症看護の実践 実践の振り返り	演習 (実習室)
7.5	まとめ	認知症とともに生きる人を支える看護	講義